

## 令和4年度 輸送安全マネジメント報告

### 【輸送の安全に関する目標および達成状況】

項目		目標	実績	達成状況
重大事故	事故報告規則2条に該当するもの	0件	0件	達成
人身事故				
人身事故	事故報告規則2条に該当しないもの	0件	0件	達成
物損事故	事故報告規則2条に該当しない有責事故	0件	0件	達成
車内事故	バス車内での転倒事故など	0件	0件	達成
交通違反		0件	0件	達成

### 【具体的な安全目標の達成状況】

#### 具体的な安全目標達成の実施事項

##### ① 乗務員教育・研修の充実

- ・年間教育計画に基づく教育の実施(毎月)
- ・冬季雪道運転・チェーン講習(11月)
- ・事故・災害時の訓練(4月 8月)
- ・ヒヤリハット報告会
- ・ドライブレコーダーの記録を利用した指導・教育(毎月 実施)
- ・特定運転者の適性診断の受診・教育(適齢 1名)(初任 対象無し)
- ・一般運転者の適性診断の受診(上位基準) 対象無し
- ・応急手当講習会の受講(消防局)
- ・運行管理者講習会受講(運行管理者 2名)
- ・安全マネジメント会議
- ・安全マネジメントセミナー受講→1名
- ・貸切バス事業者安全性評価認定制度 申請
- ・無事故・車両美化表彰 該当者 3名表彰
- ・トライザ・セーフティーひろしま(無事故・無違反推進運動)参加

##### ② 運転者の健康管理

- ・年2回の健康診断受診(一般健診・夜間勤務者健診)乗務員全員
- ・産業医への意見聴取(随時)
- ・脳ドッグ MRI 受診

- ・定期的な血圧測定

### ③ 車両の管理

- ・定期点検の確実な実施  
タイヤ交換後の増し締めを実施
- ・日常点検の再確認・指導  
休憩中のぐるっと1周車両点検を実施
- ・ドライブレコーダー設置 8088② 完了
- ・車両入替(小型2台 減車 中型1台 増車) 完了
- ・こどもミュージアムプロジェクトへの参加  
(車両背面に、事故防止啓発のメッセージをラッピング施工)

	P 計画（具体的な取り組み）	D 実行（実施内容）	C チェック	写真
毎月1回	車両点検整備の実施	3月と4月に増し締めを実施	整備管理表で確認	
A 改善	3月にタイヤ交換をして毎月1回、トルクレンチで増し締めを実施した。最初の1回目は少し緩みを感じ、2回目以降はボルトの緩みは無かった。その結果タイヤ交換後2ヶ月間を重要視し、以降は運行前点検で問題無しと判断。			
年3回	危険予知運転(KYT)訓練	教習時に実施	記録簿で確認	
A 改善	定期講習の報告書に記載しているが必ずKYTを取り入れており、乗務員がサインした報告書も提出させており、KYTについては今後も現在のペースで実施していきたい。課題としてはヒヤリハットの数を増やしたい。			
随時	事故対策機構(NASVA)の適性診断	一般診断、特定診断	記録簿で確認	
A 改善	乗務員の適性診断(一般)は3年毎で定期的の実施しており、適性診断(高齢)は2年毎に実施している。			
年3回	安全教育会議	ドラレコ映像、ヒヤリハット事例紹介	記録簿で確認	
A 改善	ドライブレコーダを用いての会議、ヒヤリハットのCDを用いて事例紹介や危険を予測する訓練を実施しており、予測を増やす訓練(KYT)を重点的な取り組みとして継続し、会議も増やして行きたい。			
毎月1回	エコドライブの推進	エコドライブ講習参加・燃費管理表作成	安全管理者が確認	
A 改善	今年度はエコドライブ講習を受講していないが、燃費管理表で個人の燃費を毎月掲示し、年度末に燃費の節約に貢献した乗務員に対して手当ての支給は来年度も継続していきたい。			
運行日	食事休憩時等の車両安全確認	停車時にバスを1周して異常の有無を確認	安全管理者が確認	
A 改善	安全運行には管理が必要で、異変が起きたとしても初期に発見し、早めに処置する事を実践した。12月に1件ベルト鳴きが発生したがすぐに処置した。この初期対応の良さを実感したため今後も取り組みを継続する。			
年1回	定期健康診断	健康診断・無呼吸症候群検査	安全管理者が確認	
A 改善	深夜を伴う乗務員の健康診断は年2回、その他の乗務員は年1回の実施は予定通りである。乗務員は無呼吸症候群検査を3年に1回予定している。			
毎月1回	服務規律の再徹底	マニュアルに沿った接客対応	ドライブレコーダで確認	
A 改善	2022年に乗降時におけるお客様の対応や制服、安全宣言を発してから出発、カッターシャツの下の肌着は派手な色を着用しないなどの内容はすべてお客様視点によるものとして乗務員服務規律に盛り込んだ。作成済。			
随時	デジタルタコグラフの導入	速度超過の確認	運行管理者が確認	
A 改善	現在、デジタルタコグラフの導入割合は75%であるがさらに導入する予定である。アナログタコグラフについては日報を提出する段階で運行管理者が速度10キロ以上超過した乗務員に指導。			
年1回	緊急時対応マニュアル	緊急時のガイドライン	年1回の定期講習に盛り込む	
A 改善	2022年に自然災害用と交通事故対応マニュアルの2種類を作成し、内容の説明と同時に取扱い規則も詳細に説明済。また専用のケースに入れて、全車両にマニュアルを搭載している。			
11月	冬季対策	雪道対応・ガイドライン	安全管理者が確認	
A 改善	12月20日の乗務員講習時に装着手順を説明し、講習後に実際に後輪に装着し実演した。チェーンの取扱いや現地での装着が難しいことに対する準備の大切さなどを伝えた。			
3月末	無事故表彰	社内表彰規定に準ずる	安全管理者が確認	
A 改善	乗務員の無事故無違反を確認し、社内規程に沿って無事故無違反表彰、燃費の節約に貢献した乗務員は表彰対象となり、意識の向上を期待と同時に無事故意識の構築をしていきたい。			
	子どもミュージアムプロジェクトへの参加	周囲を巻き込みやさしい運転	安全管理者が確認	
A 改善	バス(3033)の後方に「子どもの絵」をラッピングしたのはこの絵を見た周囲の人や乗務員がやさしい運転になること、その結果安全運転に繋がるというプロジェクト運動を今後も継続し、参加して意識の変化に期待したい。			